

16のまちだアイ・ステートメント の普及について

東京都町田市いきいき生活部高齢者支援課
医療・介護連携/認知症施策担当

認知症とともに生きるまちづくりワークショップ ——16のまちだアイ・ステートメントの普及

【背景】

- ・16のまちだアイ・ステートメントは、まちだDサミットやまちづくりワークショップ等の中で、「認知症とともに生きるまち」を理解したり、考えを深める際のツールとして活用してきた。
- ・2023年度の調査によると、アイ・ステートメントの認知度は、市内事業者67.7%であったが、一般高齢者は0.3%と、十分な普及啓発ができているとは言い難いことがわかった。
- ・「認知症とともに生きるまち」を実現するためには、より多くの市民にアイ・ステートメントを周知し、日々の生活の中で意識できることが必要ではないか。

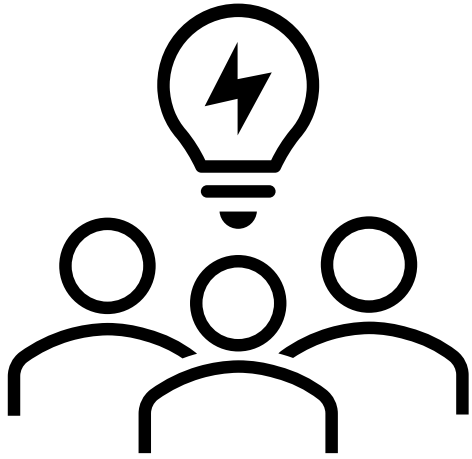
【目的】

- ・16のまちだアイ・ステートメントを広く市民に知っていただく。



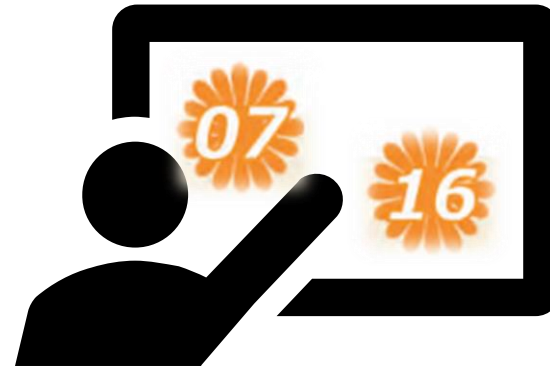
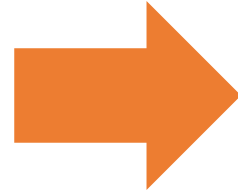
認知症とともに生きるまちづくりワークショップ ——16のまちだアイ・ステートメントの普及

【内容】



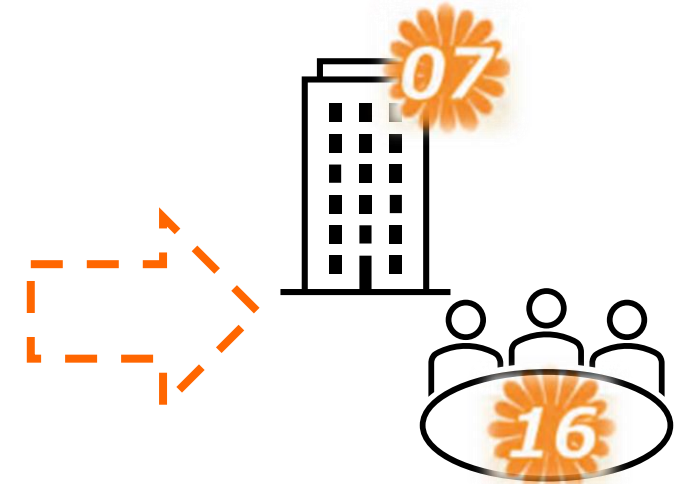
まちづくりワークショップ

さまざまなセクターが参加
しアイデア出しを行う



広報ツール検討・試作

アイデアを参考に、市民に
伝わる広報ツールを
検討・試作する



広報ツール活用

- ・作成した広報ツールを
活用
- ・活用しながら普及啓発の
効果を検証

認知症とともに生きるまちづくりワークショップ ——16のまちだアイ・ステートメントの普及

【概要】

- ・ **タイトル** 認知症とともに生きるまちづくり
16のまちだアイ・ステートメントを地域に広げるには？
- ・ **日時** 2024年10月26日（土）15:00～17:00
- ・ **会場** 市庁舎10階 10-2～10-5会議室
- ・ **申込期間** 2024年9月6日（金）～10月19日（土）
- ・ **参加人数** 40名
- ・ **内容**
 - ①アイ・ステートメント作成の経緯
(作成に関わった方のトークコーナーあり)
 - ②町田市内における認知症に関わる活動について
 - ③アイ・ステートメントを地域に広げるには？
(ブレインストーミングを活用したグループワーク)

認知症とともに生きるまちづくり 16のまちだアイ・ステートメントを 地域に広げるには？

2024年

日程 10月26日 **土** 15:00～17:00
(受付開始14:30)

会場 町田市庁舎10階 10-2～10-5会議室
(町田市森野2-2-22)

費用 参加費は無料です **定員** 48名 ※先着順

持ち物 筆記用具

内容 16のまちだアイ・ステートメントを地域に広げるためのアクションプランを考えるワークショップです。
16のまちだアイ・ステートメントは、「認知症とともに生きるまち」に向けて、目指すべき地域のあり方を16の文章にまとめ、ビジョンとしているものです。

申込 右記二次元コード、または
【まちだDマップ】ホームページより
お申し込み下さい。



▶▶ ※申込開始2024年 9月 6日（金）10:00から
※申込締切2024年10月19日（土）17:00まで

お問い合わせ 042-732-3451
(受託事業者：一般社団法人 Dフレンズ町田)

主催：町田市いきいき生活部高齢者支援課

認知症とともに生きるまちづくりワークショップ

——16のまちだアイ・ステートメントの普及

【開催結果】

・ アイデアの例 <アイ・ステートメントを地域に広げるために>

【グループ①】 SNSの活用	【グループ②】 チラシ・ポスターの作成	【グループ③】 イベントの開催	【グループ④】 研修会・勉強会の開催	【グループ⑤】 周囲に伝える	【グループ⑥】 広告の活用	【グループ⑦】 伝えやすい言葉・デザイン	【グループ⑧】 オリジナルグッズの作成
・アイ・ステートメントについてホームページかSNSにのせて周知する	・自治会に掲示、周知	・アイ・ステートメントなぞときスタンプラリーを開催する	・また話し合いの場をもつ	・家族に「アイ・ステートメント」というものがあることを話してみる	・PR動画	・アイ・ステートメントのロゴを変える	・スタバのコーヒーマップに貼ってもらう
・Xに投稿	・活動を多くの人に知らせる。様々なパンフレットに載せる	・町田オレンジデイみたいな日を作ってアイ・ステートメントを広める	・16のアイ・ステートメントの中にある、今ないことを逆に出して実現可能か考える	・今日の感想やアイデアを言い合う	・ラジオ番組毎日	・誰にでもわかる言葉で	・飲み物のラベルに印刷してもらう
・ホームページやたよりにアイ・ステートメントをのせる	・店長にお願いして、三和に貼ってもらう	・今日やったグループワークを地域でやってみる	・16個の中から好きなものを1つ決める	・アイ・ステートメントとつばやきながら電車に乗る	・JCOMで特集	・子どもにもわかる言葉でアイ・ステートメントを作ってお話を開く	・角川書店で作家と共有して本を作ってもらう
・ホームページを充実。市内の活動や横のつながりがわかるようなものがあると良いと思う	・表札の横に貼る	・Dサミットで話題にする（セッションを作る）	・講演の資料で紹介する	・会場にいる人とつながりをつくる	・NHKで流す	・アイ・ステートメントという言葉が難しい（カタカナ言葉）ので、伝えやすい言葉を話し合う	・オレンジTシャツ、オレンジタオルを作成しイベントで配布
・Facebookに投稿する	・シルバー人材センターの方々に知ってもらうためチラシ配布	・オレンジ・ランプの上映会の中でアイ・ステートメントについて伝える	・事業所の方々に研修する	・連絡会でアイ・ステートメントに触れる	・YouTubeチャンネルをつくる	・ぱっと見全部同じに見えて頭に入っていないので、オレンジ色にこだわらすぎない。デザイナーに発注	・アイ・ステートメント文章が入ったTシャツを着て野津田スタジアムへ行く
・SNSで発信	・チラシを事業所に貼る		・小・中学校でも勉強会をする	・サポーターとの集まりでアイ・ステートメントを紹介	・CMにする	・認知症の人が覚えられる長さの文章に変える	・Tシャツにプリントして、市内を巡回する
・ホームページとリンク	・デイルームにアイ・ステートメントを掲示する		・勉強会や薬業連携のテーマにする	・名札にアイ・ステートメントを貼る	・YouTubeCMで流す	・アイ・ステートメントを日本語に訳してみる	・リング、ステッカー、バッジ（サポーター）
・SNSで色々な企画にチャレンジする	・地域の商店にアイ・ステートメントのチラシを置いてもらう		・それぞれの連絡会で研修をする（デイサービス、グループホーム、特養、ヘルパー、訪問看護etc）	・友人や家族に今日の話を話す	・映画上映前のCMで流す		・アイ・ステートメントをプリントしたエコバッグをつくる

認知症とともに生きるまちづくりワークショップ ——16のまちだアイ・ステートメントの普及

【今後の取組方針】

- 検討方法 WSで出てきたアイデアをもとに、認知症地域支援推進員とともに普及啓発方法を検討

【2024年度取組】

- WSで出たアイデアを認知症地域支援推進員と共有、特に有効と思われるものを下記の4種類に分類

【A】対象範囲が広くて、比較的すぐ実現できそうなアイデア

【B】対象範囲が広くて、実現するまでに時間がかかりそうなアイデア

【C】対象範囲が狭くて、比較的すぐ実現できそうなアイデア

【D】対象範囲が狭くて、実現するまでに時間がかかりそうなアイデア

- 2024年度はこのうち、比較的すぐに取り組むことが可能なアイデア（【A】 【C】）を中心に実践する取組を選定

認知症とともに生きるまちづくりワークショップ

——16のまちだアイ・ステートメントの普及

【A】対象範囲が広くて、比較的すぐ実現できそうなアイデア

【グループ①】 SNSの活用	【グループ②】 チラシ・ポスターの作成	【グループ③】 イベントの開催	【グループ④】 研修会・勉強会の開催	【グループ⑤】 周囲に伝える	【グループ⑥】 広告の活用	【グループ⑦】 伝えやすい言葉・デザイン	【グループ⑧】 オリジナルグッズの作成
①SNSで発信（堺1、南1③）	②まちだの広報にDカ フェの日程といっしょに16 のまちだアイ・ステートメン トの資料を入れる（忠 2）	③アイ・ステートメ ントなぞときスタン ダラリーを開催する （町2②）	④講演の資料で 紹介する（忠2）	■自主グループへの紹 介（鶴2）	⑥PR動画（町2、 鶴1）	⑦誰にでもわかる言 葉で（堺1）	⑧スタバのコーヒーカ ップに貼ってもらう（町 1）
①ホームページやた まりにアイ・ステートメン トをのせる（堺2、町 1）	②ハートページにのせる （鶴1）		■いろいろな講座 の時に紹介（鶴 2）			■誰にでもわかる言 葉で（各アイ・ステ ートメントについて） （町3）	⑧スタバのコーヒーカ ップに貼ってもらう（忠 1）
①アイ・ステートメント についてホームページ かSNSにのせて周知 する（南3）	②チラシの作成（南 1）					■アイ・ステートメント の前に認知症フレ ンドリーの説明文をつ ける。（町3）	⑧横断幕を作って歩 道橋に掲示（南1）
	②薬局利用者にパンフ レットを配布する（南 2）						⑧ロゴマーク（南1）
	②チラシ、ポスターの作 成（連携）						⑧アイ・ステートメント をプリントしたエコバ ッグをつくる（南3）
	②チラシ・ポスターを貼 って周知する（忠1）						

認知症とともに生きるまちづくりワークショップ

——16のまちだアイ・ステートメントの普及

【C】対象範囲が狭くて、比較的すぐ実現できそうなアイデア

【グループ①】 SNSの活用	【グループ②】 チラシ・ポスターの作成	【グループ③】 イベントの開催	【グループ④】 研修会・勉強会の開催	【グループ⑤】 周囲に伝える	【グループ⑥】 広告の活用	【グループ⑦】 伝えやすい言葉・デザイン	【グループ⑧】 オリジナルグッズの作成
①ホームページやたよりにアイステートメントをのせる（南1）	②ポスターを職場で配る（忠2） ②ニュースレターにのせる（南1） ②市役所・市民センターにポスターを掲示（南1） ②ハートページに載せる（南1）	③オレンジ・ラングの上映会の中でアイ・ステートメントについて伝える（南3）	④サポーター養成講座で重点に説明する（堺1、町1） ⑤Dカフェで必ずひとつ話題にする、④16個の中から好きなのを1つ決めてみる（堺2） ④サポーター養成講座で重点に説明する、④16個の中から好きなのを1つ決めてみる（堺2） ④事業所の方々に研修する（忠2） ④16個の中から好きなのを1つ決めてみる（町2） ④研修会の資料として使う（南1） ④講演の資料で紹介する（南1） ④それぞれの連絡会で研修をする（デイサービス、グループホーム、特養、ヘルパー、訪問看護etc）（南3） ④研修会 勉強会（連携） ④小・中学校で勉強会（忠1）	⑤自分の周囲の人たちに今日の感想をつたえて、アイ・ステートメントを紹介する（堺1） ⑤Dカフェで必ずひとつ話題にする、④16個の中から好きなのを1つ決めてみる（堺2） ⑤Dカフェで必ずひとつ話題にする（町1、南1） ⑤施設広報誌で案内する（鶴1） ⑤友人や家族に今日の事を話す（南1） ⑤自分で理解し生活の中であてはめて親しい人に伝える（南1） ⑤地域の認知症カフェに参加しながら話し合いをすること（南1） ⑤地域の認知症カフェに協力しながら、アイ・ステートメントの話し合いをすること（南3） ⑤周囲に伝える（連携） ■事業所に周知するためデイサービスに紹介（鶴2） ■民生員の方に紹介（鶴2）			⑧誰でも安心して入れるお店のステッカー、のぼりなどを作る（鶴1）

認知症とともに生きるまちづくりワークショップ ——16のまちだアイ・ステートメントの普及

<実施する取組（案）>

①チラシ・ポスターの作成：概要がわかる・見やすいものを作成する

⇒関係機関に配布して周知（【A】②）、研修会・勉強会・講座での活用（【C】④）、
ホームページ等に掲載して周知（【A】①）

②オリジナルグッズの作成：ステートメントが印字されたシールを作成する

⇒スタバのコーヒーカップに貼ってもらう・Dカフェで配布し話題にする（【A】⑧）、
研修会・勉強会・講座で配布（【C】④）、他分野のイベント等で配布 など

【2025年度の取組】

- ・ 実施までに調整が必要と思われるアイデア（【B】 【D】）を中心に、引き続き検討

認知症とともに生きるまちづくりワークショップ

——16のまちだアイ・ステートメントの普及

【B】対象範囲が広くて、実現するまでに時間がかかりそうなアイデア

【グループ①】 SNSの活用	【グループ②】 チラシ・ポスターの作成	【グループ③】 イベントの開催	【グループ④】 研修会・勉強会の開催	【グループ⑤】 周囲に伝える	【グループ⑥】 広告の活用	【グループ⑦】 伝えやすい言葉・デザイン	【グループ⑧】 オリジナルグッズの作成
①SNSで発信（忠2）	②チラシを作成して回覧板をまわしてもらう（堺1） ②病院にポスターを貼る（南1） ②地域の商店にアイ・ステートメントのチラシを置いてもらう（南2）		④サポーター養成講座で重点に説明する（町2） ④学校教育に取り入れる（町2、鶴1、南1、南2）	⑤アイステートメントについて知っていることを人に伝えていく（南1） ■老人会への説明会。（鶴2） ■自治会への説明会（鶴2）	⑥広告の活用（J:COM、NHK、CM、ラジオ、PR）（町1） ⑥広告の活用（連携） ⑥電車に16のアイ・ステートメントをラッピングする（町2） ⑥電車、バス、タクシーの広告（南1②） ⑥小田急線の車両を16のアイ・ステートメントでいっぱいにする（南3） ⑥PR動画（忠1） ⑥電車・バス・タクシーの広告（忠1） ⑥神奈中バスの広告にアイ・ステートメントをのせる（南3） ■NHKのニュースや特集で取り上げてもらう（南3）	⑦認知症の人が覚えられ長さの文章に変える（堺2） ⑦誰にでもわかる言葉で（堺2、町1、南1） ⑦子どもに分かる言葉でアイステートメントを作ってお話会を開く（南1）	⑧社用車にステッカーを貼ってもらう（堺1） ⑧誰でも安心して入れるお店のステッカー、のぼりなどを作る（堺2） ⑧駅でティッシュを配る（忠2） ⑧スタバのカップにシールを張ってもらう。簡単な説明付き。16種類作ってもらう。（町3） ⑧町田市のゴミ袋をオレンジ色にしてアイ・ステートメントプリントしたもの（鶴1） ⑧オレンジTシャツ、オレンジタオルを作成しイベントで配布（南1）

認知症とともに生きるまちづくりワークショップ ——16のまちだアイ・ステートメントの普及

【D】対象範囲が狭くて、実現するまでに時間がかかりそうなアイデア

【グループ①】 SNSの活用	【グループ②】 チラシ・ポスターの作成	【グループ③】 イベントの開催	【グループ④】 研修会・勉強会の開催	【グループ⑤】 周囲に伝える	【グループ⑥】 広告の活用	【グループ⑦】 伝えやすい言葉・デザイン	【グループ⑧】 オリジナルグッズの作成
①FaceBookに投稿する、①SNSで発信する（町2）	②自治会に掲示、周知（忠2） ②チラシ、ポスターの作成（南1） ②病院にポスターを貼る（南3）	③今日やったグループワークを地域でやっている（堺1）	④サポーター養成講座で重点に説明する（忠2） ④学校教育に取り入れる（町1） ④小・中学校でも勉強会をする（南3） ④学校教育に取り入れる（忠1）	⑤近所の老人に語る（鶴1） ⑤隣の人に言う（鶴1） ■サービス利用者、ご家族への周知（鶴2） ■相談窓口に来所されて、高齢者やご家族への周知（鶴2）		⑦アイ・ステートメントという言葉が難しい（カタカナ言葉）ので、伝えやすい言葉を話し合う（町1）	⑧オリジナルグッズの作成（連携）

認知症とともに生きるまちづくりワークショップ

——16のまちだアイ・ステートメントの普及

【スケジュール（更新）】

- 12/27ㄨ （市⇔推進員） 整理したアイデアに対する意見照会
- 2/25 （市⇔推進員） 2024年度の方角性の報告・2025年度の方角性の検討

